

上富地区

お正月の楽しみ

第62号
令和2年11月1日発行
三芳町社会福祉協議会
TEL 049-258-0122
FAX 049-258-0180

泣いても笑っても、あと三十一日 令和二年が終わる 御師が走る師走十二月



今年もあと一ヶ月となりました。光陰矢のごとしと言いますが、年の過ぎゆくのは早いもので、今年にはコロナウイルスと猛暑に悩まされた一年でした。

コロナについては未だ油断は出来ませんが、もう少しで年が変わります。注意して生活したいものです。

お正月の行事、習慣も昭和から平成、令和と時代が変わり、今ではだいぶ簡素化されてきました。昭和の頃は大掃除、年越しの料理と家庭の主婦は大忙しの時でした。掃除については業者に頼めば何でもやってくれる時代になり、楽で便利な時代になりました。

昭和の時代は暮れになるとおせち料理の準備をしました。お正月を迎えるためにおめでたい言葉のある品物を揃えます。おせち料理は、日本の懐石料理のコース料理が基本になっているようです。料理の種類は地域によって異なるようですが、かまぼこ、栗きんとん、伊達巻、数の子、鯛、海老の海の幸、紅白なます、それに山の幸として、里芋、クワイ、蓮根等の筑前煮があります。これらは、年の始め頃の家庭の主婦の仕事がいくらかでも楽になるようにとも言われています。

十二月二十七日・二十八日頃になると、お正月に食べるお餅をつ

きます。疎開先の祖父母達が親類や近所の人達で朝早くから餅つき準備をして、賑やかに始めていたのを思い出します。お供え餅にあんこ、からみ、きなこ作り、食べたことは今では望むことは出来ません。

三十一日になると年越しそばを食べる習慣もあります。奈良時代の博多のお寺で地域の人達が年を越せないということと貧しい人達にそば粉で作ったそば餅を振舞ったそうです。そして年が明け翌年になると、そば餅を食べた人達の運氣が上がり、そば餅を食べると良いことがあると噂が広がりました。これらのことから毎年食べられるようになり、現在の年越しそばになったようです。

お蕎麦はお寺で精進料理として食べられていましたが、貴族、武士、そして庶民へと広まり、今



では日本中で食べられています。年越しそばのいわれとしては、細く長く、またすぐ切れることから悪い事を切り離すと言われていきます。また金銀細工の職人さんはそば粉を使って散らばった金銀を集めるのに使ったことから、そばで金運をつかむと言われていきます。そしてそばの栽培には、環境の悪い所でもよく育つ事から元気で暮らせることを願ったようです。

三十一日を大晦日と言い、元旦の年神様を迎えるため寝ずに待つ日とされ年ごもりとも言われます。我慢できず寝てしまうと、しわや白髪が増えるといい、何とも嫌な言い伝えですね。そこで除夜の鐘を聞いたら初参りはどうですか？

上富地区には多福寺と徒歩十分位で多聞院があります。また隣には神明社もあり、初参りのはしごが出来ます。多聞院の毘沙門社では参道がろうそくでライトアップされ幻想的な雰囲気になります。

(文・小高 政喜)

ふれ W A L K

この事業は、参加者の健康啓発とスマートシニア推進を目的に行います。みなさんは、スマホ歩数計を活用し、ウォーキングをしているかと思います。その頑張っている歩数計の記録を写真にして、WEB 投稿しようという企画です。ふれセン公式 LINE のお友だちなら、誰でも・自由に・いつでも参加できます。

■参加方法

- ①三芳町ふれあいセンター公式 LINE をお友だち追加します。
- ②5,000 歩以上カウントした歩数計の写真を送信します。
※スマホ歩数計の場合、スクリーンショットを送信してください。
- ③氏名、住所、年齢を送信します。
※LINE 上で、他のユーザーに見られる心配はありません。
- ④応募者を対象に、毎月抽選で、参加賞としてクオカードが当たります。



■お願い

- ・応募は、毎月1アカウント1回です。※複数応募されても抽選権利は1回です。
- ・当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。
- ・氏名、住所、年齢がないと、当選しても郵送できないのでお忘れなく、ご入力ください。

「上富けやき並木」ご案内

日時 12月9日（水） 10時～11時30分

場所 上富1区にお住まいの方 上富1区集会所

上富3区にお住まいの方 上富3区第2集会所

持ち物:ハサミ ☆クリスマスの製作を予定しています♪

☆参加される方は、マスクの着用、検温を忘れずをお願いします！

※新型コロナウイルス感染状況によっては変更となる場合もあります。ご了承下さい

おしゃべりや製作を
皆で楽しみりフレッシュ♪

お役立ちコーナー

<福祉資金の貸し付け>

急な出費があって生活費が足りない、光熱費を滞納してしまったなど、お金のやりくりで困ったときご相談下さい。

限度額：一世帯5万円（無利子）

※貸付には審査があります。

※民生委員による生活相談を合わせて行います。

<あんしんサポートネット>

郵便物がいろいろ届くけど内容が良く分からない、時々通帳が見つからないなど、普段の生活で一人で判断するように、生活支援員が定期的
に訪問し、福祉サービスの利用・生活上の手続き等をお手伝いします。
料金：1回1時間 1,200～1,600円

<お話を聞くボランティア>

ご希望の日時に合わせて、月1～2回お話を聴くボランティアがご自宅にお伺いします。訪問するのは、傾聴ボランティア「なごみ」の会員で、お話を聴くことについての基礎知識を身に付けています。お話した内容の秘密は守ります。料金；無料